

奥沢病院 News Letter



2011年8月号 Vol.169
発行者: 広報委員会
ホームページ
[Http://www.tmg.or.jp/okusawa](http://www.tmg.or.jp/okusawa)

病院理念: 私たちは、患者様の意志とプライバシーを尊重し、心のこもった質の高い医療サービスを提供します。

From the Editor(医師のコラム):



理解

整形外科 越野 鎮人

梅雨明けも早く、この夏はとても暑く、暑さゆえにイライラしてしまい感情的になってしまうこともあるでしょう。

最近、忙しさの上に日常の体の不調(肩こり、腰痛、頭痛、だるさ等..)を周囲から理解してもらえずに……というお困りの患者さんの話をよく耳にします。

私達社会生活を営む人々にとって“コミュニケーション”というものは不可欠なものです。感情的になることや一方的な考え方ではコミュニケーションは成立しません。

患者さんの周囲の方々にお話ししたいのですが、相手の話を受け入れ、相手がどう思って、どうしてほしいのかという“相手を大切に”ということが一番に考えてみてほしいのです。

アメリカの精神科医であるエリック・バーンは「人は誰もかけがえの無い存在である」といっています。

体の不調が原因から人間関係までに発展していく場合も少なからずあると思います。

まずは“自分から考え方や見方を変えてみる”ということは私たち誰にでも必要なことではないでしょうか。

そこで初めてよいコミュニケーションが取れていくのではないのでしょうか。

私はふだん整形外科の外来をしています。どうぞ体の不調部分だけでなく、何でも気軽にご相談ください。

因みに私は最近、愛犬とコミュニケーションをはかろうと日々努力しています!(笑)。



Contents:

医師のコラム.....1	理解 ~整形外科 越野 鎮人~
各部署からの情報.....2	岩手県における医療支援活動報告 For English-speaking Clients
奥沢病院だより.....3	熱中症に気をつけよう 第14回オープンホスピタル ;アテンディングドクターの会
診療案内・病院からのお知らせ.....4	

奥沢病院の職員一同は患者さま(クライアント)のご意志とプライバシーを尊重します。

- 患者様の意志とプライバシーを尊重した医療
- 苦痛・恐れ・不安の解消に最大限の努力をする事
- 公正な医療:十分な説明と、同意を得た治療契約
- 24時間365日の二次救急医療体制
- 周辺の医療機関との密接な医療連携
- 総合的診療と特色のある専門外来

岩手県における医療支援活動報告

～東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます～



東日本大震災の被災地である岩手県立山田病院の支援のため、当院の職員も戸田中央医科グループ(TMG)による医療支援チームの一員として派遣されました。

TMG東北支援プロジェクトに参加して

看護師 村井こず恵(6月20日～23日まで)

私は6月20日から6月23日までの期間、プロジェクトに参加させていただきました。行きの車中、家の土台だけが広がる町並みや、原型の無い車など見慣れない光景に言葉に言い表せない痛みと衝撃を感じました。なじみの光景を失った方々は測り知れない痛みを抱えているだろうと改めて痛感しました。活動としては、診察介助や夜間診療、リハビリの方に同行し、避難所での集団体操を行いました。現地の皆さまは、常に笑顔に溢れ会話を楽しみ、前向きに明るく過ごされていたことに私自身も、元気をいただきました。仮設住宅の建設も増え、山田病院も仮設診療所が完成していましたが、交通の便がまだ整っていないため通院に不安を訴える方もいました。復旧から復興へ向かっている今、訪問看護や訪問診療のニーズが高まっていると思われ、また、心のケアも重要になっていくのではないかと思います。現地スタッフの方には自らも被災者でありながら、患者さまに寄り添い傾聴し支えている姿に感銘を受け、人を敬うことを学ばせていただきました。この経験を心に刻み、これからの看護に役立てていきたいと思いました。今回関わった皆様に感謝申し上げます。そして一日も早い復興を願っております。



被災地に赴いて

副院長 伊平 慶三(6月23日～26日まで)

6月23日より被災地医療支援に参加しました。私が行ったときにはすでに震災から3月以上が経過しており、ライフラインも最低限ではありますが復旧していました。しかし病院の周りを見渡すとまだまだにがれきの山が残り、被災した病院職員が毎日通勤時にこの光景を見るたびに泣けてくると言っていたのが深く胸に残りました。さて、山田病院は仮診療所も完成が近づき、診療面では第2ステージに入るところでした。とはいえ避難所にはいまだに多くの方々が生活をしており、特に震災前に比べ、環境や先々への不安感から血圧が異常に上昇している方が多くみうけられました。

更に、東北も梅雨に入り、またこれから夏を迎えることから、食中毒や、脱水などの新たな不安が加わります。支援中に我々のできることは限られますが、生活上のこれからの留意点などもできるだけ話すようにしました。しかし、これだけの被害にあいながら、前向きに毎日を生きている被災者の皆様を見ていると、逆にこちらが勇気づけられ、絆を与えられているという思いがしました。



For English-speaking Clients:

Clinic Hours:

9:00 – 12:30, 14:00 – 17:00 on
Monday through Friday,
9:00 – 12:30 on Saturday.

Open 24 hours

On emergency basis

Physicians who can speak English are available at the Okusawa Hospital & Clinics, comprising General Family Practice, Internal Medicine, General Surgery, Orthopedic Surgery and Pediatrics. Health checkup, vaccination, counseling & consulting for second opinions are also ready for service.

奥沢病院だより

熱中症に気をつけよう！



熱中症対策には、「水分と塩分の補給を」という話をご存じの方が多くと思います。でも私達は、日頃の食事で必要量を上回る塩分を摂っているので、塩分を過度にとりすぎると高血圧などのリスクがあります。

日常生活でジワジワと汗をかく程度の場合は、水分だけをこまめに補給していれば十分足りませんが、屋外の作業や運動で大量の汗をかいた場合は、スポーツドリンクなどで適度な塩分も摂ることをお奨めします。また日頃から運動をする習慣をもつことで、汗をかきやすくなり、体温が上がりにくい身体をつくる事ができます。しかしこの時期は、涼しい時間帯に日差しを避け、軽いウォーキング程度とするなど工夫をして、くれぐれも無理をしないようお気をつけください。

また、最近の研究で、運動後に牛乳などのたんぱく質をとると、血液量が増え熱放散をしやすく体温が上がりにくくなるという結果があります。

今年の夏は節電対策でエアコンの使用を制限されている方も多いと思います。熱中症の発生場所の約42%が住宅等屋内で、夜間にも発生件数が多いという報告もあります。特に高齢者や乳幼児のいらっしゃるご家庭では設定温度を調節しながら、エアコンを上手に活用して”夏の暑さと節電対策”を乗り切りましょう。

もしも、「病院へ行った方がいいかな?」「救急車を呼んだ方がいいかな?」と迷う症状がでたら、東京消防庁救急相談センター（#7119）が24時間・年中無休で相談窓口を開設していますのでご利用下さい。



第14回オープンホスピタルアテンディングドクターの会

6月24日(金)、自由が丘にて「第14回オープンホスピタル:アテンディングドクターの会」を開催いたしました。この会は、開放型病床の登録をしている地域のクリニックの先生方を中心に連携医療機関の方々をお招きし、講演と懇親の機会を設けるものです。開院当初は病院を開放し外来ロビーで懇親会を行っていたため、文字通り「オープンハウス」ならぬ「オープンホスピタル」であったため、今でもこの連携の会をそう呼んでいます。毎年開催しており、今回で14回目となります。

今回は、当院の臨床心理カウンセリングを担当する医療心理士の川原律子先生(非常勤)より「困った人たち:境界性人格障害について」というテーマでご講演頂きました。ユニークな演題で活発なディスカッションが行われました。

これに引き続き、松村院長より当院の近況の報告と医局員・地域医療連携スタッフの紹介をいたしました。また今回は当院スタッフも参加した「TMG東北医療支援プロジェクト」についても報告をいたしました。

その後は懇親会へ移り、約2時間という短い時間ではありましたが、活発な意見交換をすることができ、参加された地域の先生方にも喜んで頂くことが出来ました。当院は今後もさらに木目の細かい地域医療連携を目指していきます。



医師紹介

松村 光芳：院長。医学博士。日本外科学会・日本小児外科学会専門医。昭和大学医学部兼任講師。1985-1988ロスアンゼルス小児病院フェロー、1993-1994ニュージーランド・ウェリントン病院外科シニアレジストラ。

外科・小児外科・総合診療科担当。日本医師会認定健康スポーツ医

伊平(いだい) 慶三：副院長。内科部長。医学博士。日本内科学会認定医。日本アレルギー学会専門医。呼吸器・アレルギー疾患を専門とする。

内科・総合診療科担当

常見(つねみ) 享久：小児科部長。医学博士。町田市民病院、葛飾赤十字産院、東京女子医大心研等に勤務。昭和大学小児科専任講師を経て現職。昭和大学小児科兼任講師。日本小児科学会認定医

梅田 耕明：医学博士、日本大学医学部卒、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、東京医科大学救急医学講座兼任講師。消化器一般外科、肝胆道臓器外科、乳腺外科、緩和ケア、救急・地域医療連携担当。マンモグラフィ検診精度管理中央委員会読影認定医。

川井 仁：内科・糖尿病外来担当。医学博士。日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医。2005年6月より現職。

菅田 彰：医局長。内科一般、呼吸器担当。医学博士。日本内科学会認定医、日本アレルギー学会専門医。2005年11月より現職。

越野 鎮人：整形外科。医学博士。日本整形外科学会専門医。専門は、一般外傷、骨粗鬆症、股関節疾患。

伊達 淳：外科。医学博士。日本外科学会認定医。専門は一般消化器外科。2009年10月より現職。

病院からのお知らせ:

総合診療科について

何科に受診したらよいかわからない症状は少なくなく、健康上の問題は単純でない事も多いものです。当院では、特定の診療科目にこだわらず、患者様にお気軽に御相談頂くために「総合診療外来」を設けております。診察受付時に、お申しつけください。

セカンドオピニオンについて

「別の専門医・医療機関の意見を聞いてみたい…」と、悩んでおられる方はたくさんいらっしゃいます。欧米では当たり前の、この「セカンド・オピニオン」というシステムを当院では尊重しています。患者様・御家族にとって最適な選択をしていただくためのお手伝いをさせていただきます。お気軽に御相談ください。

医療相談室(MSW)

医療費・在宅介護・入院・転院など、医療全般に関する御質問や御相談がございましたら、医療相談室(清水)、看護部長(大竹)まで、お気軽にお申しつけください。

地域医療連携室より

看護・介護に関する相談窓口として、外来 受診・入院・転院のご相談や、退院後の在宅 看護・介護に関するご相談など、医療サービス全般の相談を、MSW・看護師・医事課職員が承ります。お気軽に外来受付か職員までお申しつけください。相談は無料です。

お車で御来院の方へ

患者様及びご面会の方につきましては、会計又は面会終了時に受付にて無料券を配布させていただきますのでお気軽にお声をかけてください。また、ご不明な点がございましたら受付までお申し出下さい。

御面会の方へ

面会時間は9:00～20:00です。患者様のプライバシーを守るため、当院ではお部屋に患者様のお名前を表示しておりません。御面会される方は、受付にて面会カードをお受け取りになり、ナースステーションにてお部屋番号をお確かめください。

節電に伴う「クールビズ」の実施について

当院では東日本大震災に伴う夏場の電力不足が懸念されることを受け、節電対策の一環として、平成23年6月1日～9月30日までの間、夏の軽装「クールビズ」の実施に取り組むことに致しました。これにより事務の男性職員はスーツの上着及びネクタイの着用を控えます。つきましては、その旨をご理解の上、ご協力の程、宜しくお申し上げます。

COOLBIZ

稲垣医師診療のご案内

整形外科稲垣医師の診療につきましては、4月より予約での受付となっておりますので、事前のご予約をお願い申し上げます。

上肢の外来

関節リウマチによる手・肘の腫れや変形、神経麻痺、しびれ、スポーツ障害、肘の変形や痛み等の症状がある方はお気軽にご相談ください。

- ◆ 診察日 : 毎月1回/第1週の木曜日
午後3時00分～午後5時00分まで
- ◆ 担当医師 : 昭和大学医学部整形外科主任教授
稲垣克記(いながき かつのり) 医師
- ◆ 予約方法 : 診察時間内にお電話にてご予約いただくか、
診察時に直接お申し込みください。なお、予約多数にてお受けできかねる場合もございます。
あらかじめご了承ください。

予約受付電話: 03-5701-7788

禁煙外来のお知らせ

当院では、6月1日より、禁煙外来がはじまりました。「禁煙したいけどやめられない…」そんな方は、是非ご利用ください。なお予約制とさせていただきますので予めご了承ください。また、保険診療適用となります。

- ★ 診察日 : 毎週水曜日午後
- ★ 担当医師 : 大西 司(おおにし つかさ) 医師
- ★ 専門分野 : 呼吸器内科
- ★ 予約方法 : 直接受付まで声をかけて下さい。

※当院では、ファイザー製薬のチャンピックスという内服薬を処方します。



- 東日本大震災救援情報サイトのご案内
URL: <http://tasukeaijapan.jp/>



医療法人 柏堤会(財団) 奥沢病院

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢2-11-11
TEL: 03-5701-7788 FAX: 03-5701-2922
ホームページ <http://www.tmg.or.jp/okusawa>

周囲の医療機関との密接な医療連携
奥沢病院アテンディング・ドクター

昭和大学病院・都立荏原病院・都立広尾病院・日赤医療センター・せんぼ東京高輪病院・国立東京医療センター・心臓血管研究所附属病院 他

診療科目

内科・外科・小児科・整形外科・放射線科・麻酔科

診療時間

平日 9:00～13:00(受付8:30～12:30まで)
14:00～17:00(受付13:30～16:30まで)
土曜 9:00～13:00(受付8:30～12:30まで)
月・金に限り(内科・外科・小児科)
夜7時まで検査・通常処方が可能です。(受付18:30まで)

休診 土曜午後・日祭日

※当院は24時間体制で診療を行っております。曜日により診療科が異なりますのでお電話にてご確認下さい。
会社・個人向け各種健康診断・人間ドックも随時受付けております。
乳児健診・各種予防接種を受付けております。
予約制になりますので、お電話でお申し込みください。